

NetBeans で JavaScript と PHP の開発環境を構築する

内容

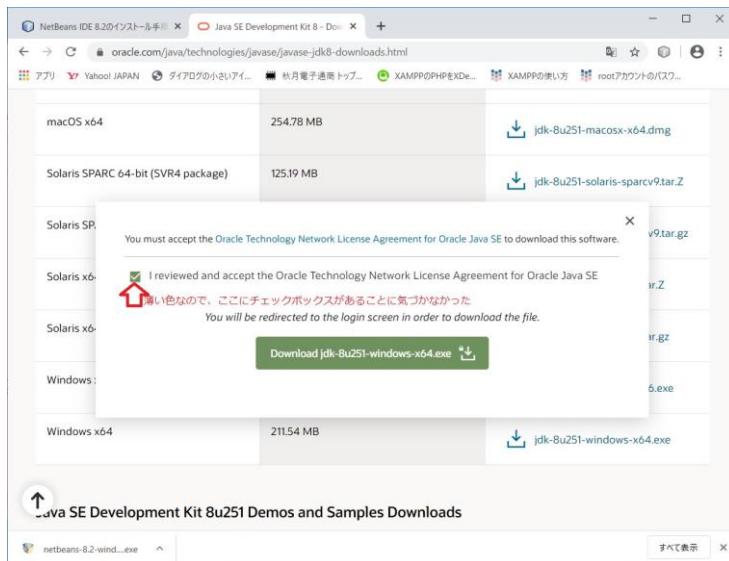
1. JDK.....	2
1.1 ダウンロード.....	2
1.2 インストール.....	2
1.3 環境変数の設定.....	4
2. Xdebug	11
2.1 ダウンロード.....	11
2.2 設定.....	11
3. Netbeans.....	12
3.1 ダウンロード.....	12
3.2 インストール.....	12
3.3 PHP プロジェクトの新規作成.....	16
3.4 PHP のデバッグ	18
3.5 JavaScript のプロジェクト新規作成	19
3.6 JavaScript のデバッグ	20

1. JDK

1.1 ダウンロード

下記のサイトで Windows の JDK をダウンロードします。JDK のバージョンは NetBeans8.2 に時期的に近い JDK8 を選びました。また、Linux で JDK8 を使うことがありましたら、特に不具合はありませんでした。

<https://www.oracle.com/java/technologies/javase-jdk8-downloads.html>

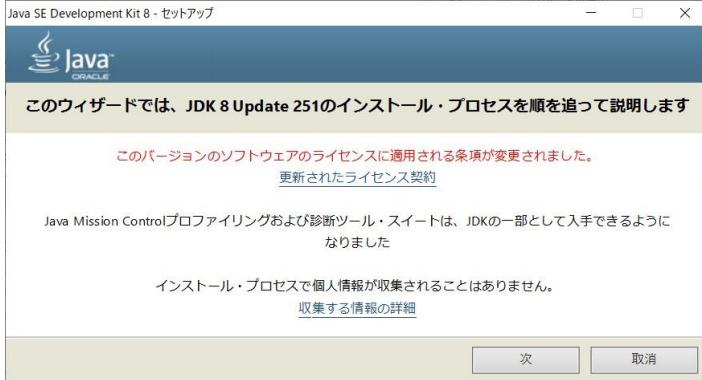


チェックボックスの色が薄すぎて見えませんでした。このチェックボックスをチェックしないとダウンロードできません。ご注意ください。

1.2 インストール

jdk-8u251-windows-x64.exe をダブルクリックします。

インストールが開始されます。



[次]をクリックします。



[次]をクリックします。



[次]をクリックします。インストールの状況が表示されます。



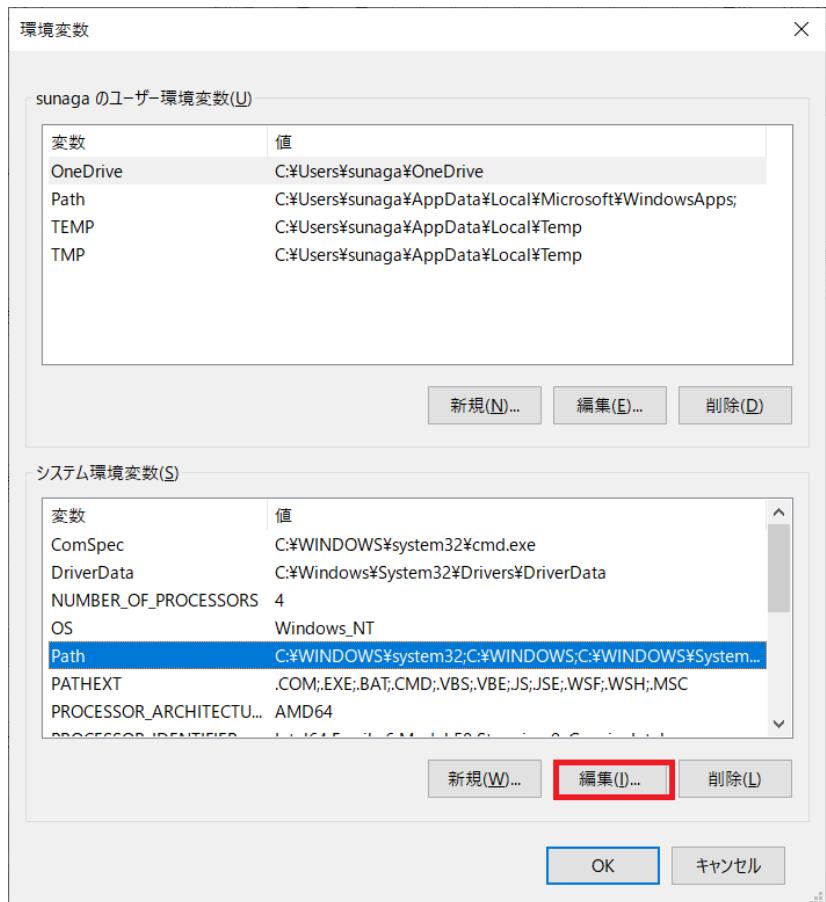
[閉じる] をクリックします。

1.3 環境変数の設定

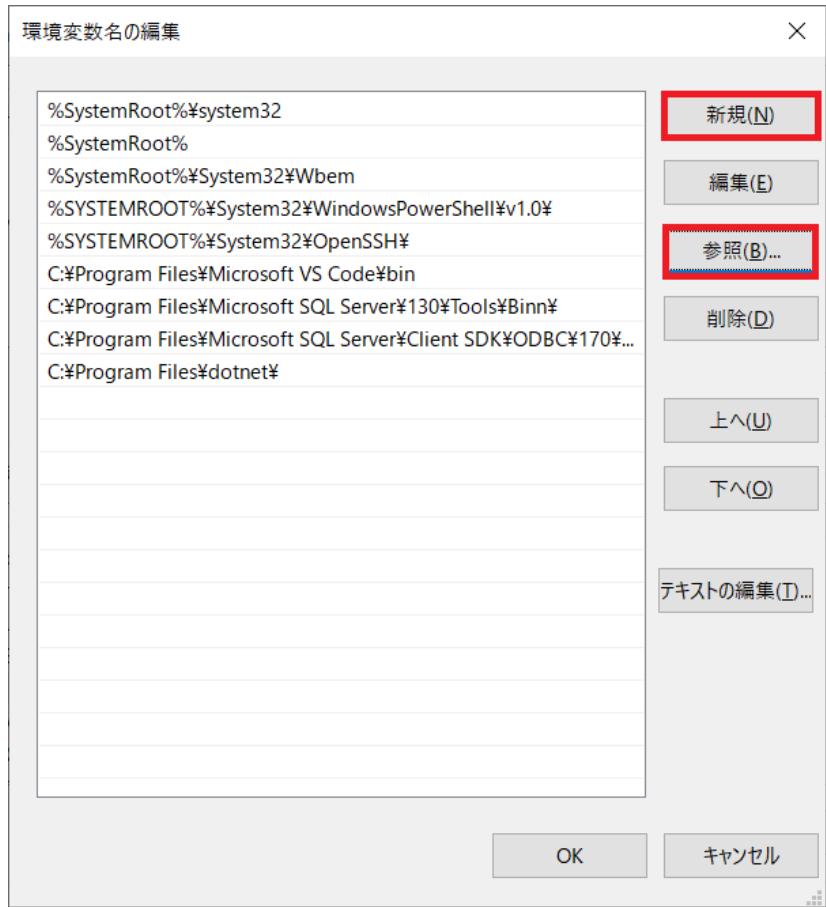
Windows の設定 -> システム -> バージョン情報 -> システム情報 -> システムの詳細設定



[環境変数]をクリックします。

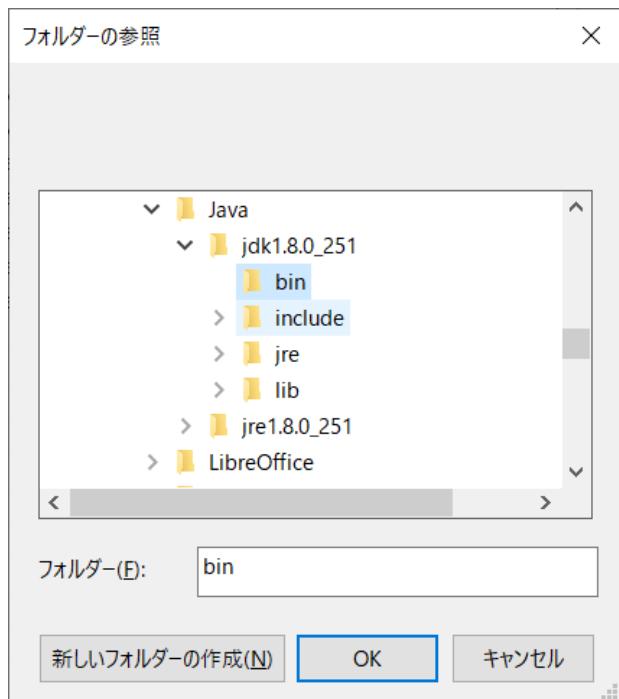


Path を選択して[編集]ボタンをクリックします。



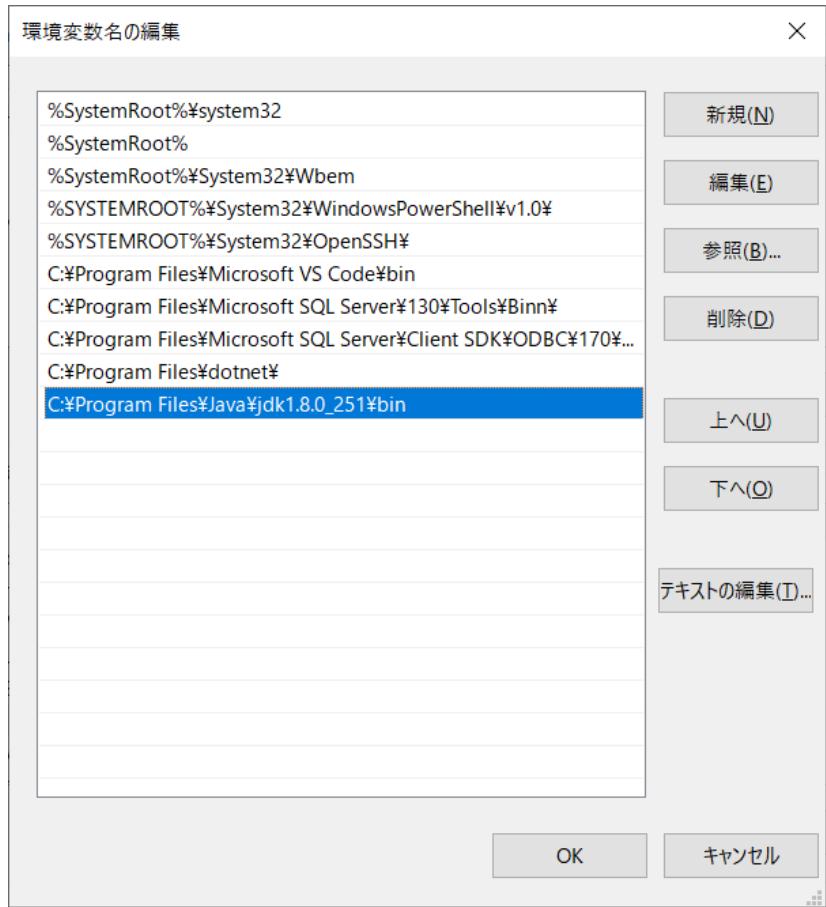
新規]ボタンをクリックします。

[参照]ボタンをクリックします。



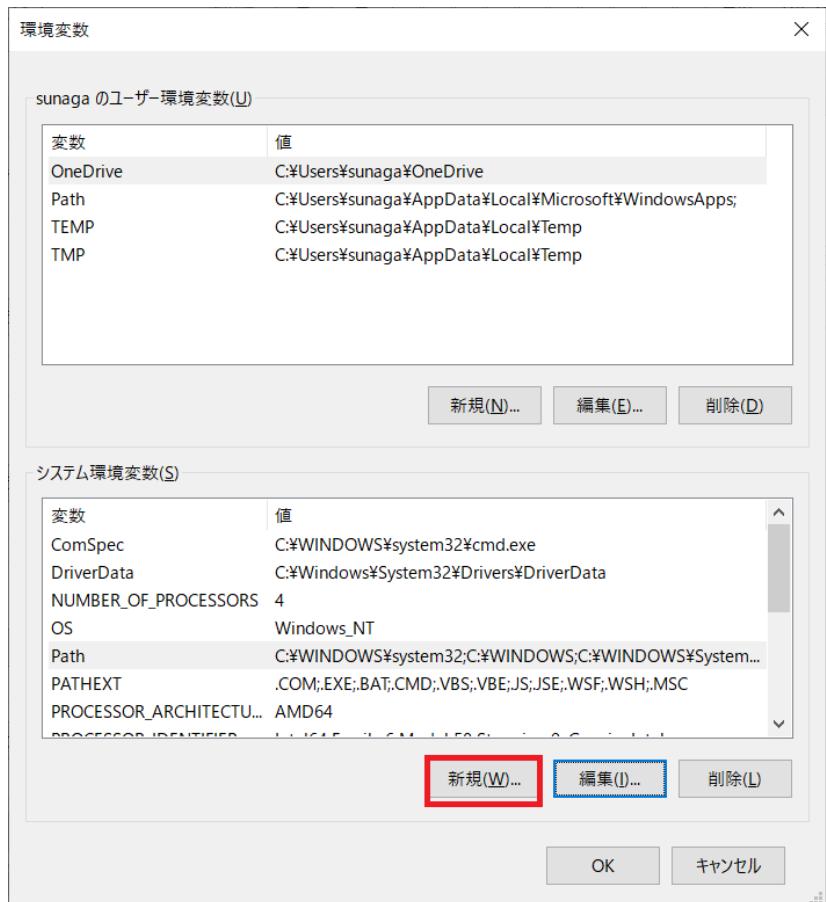
C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_251\bin を指定します。

[OK]ボタンをクリックします。

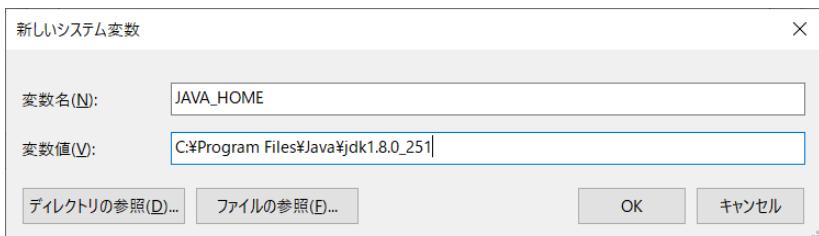


[OK] ボタンをクリックします。

JAVA_HOME の設定



[新規]ボタンをクリックします。



変数名 : JAVA_HOME

変数値 : JDK を収納したフォルダ(C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_251)

[OK]ボタンをクリックします。

ユーザー環境変数のダイアログ画面に戻ります。

[OK]ボタンをクリックします。これで終わりです。

確認はコマンドプロンプトで、

java -version

java のバージョンが表示されます。

2. Xdebug

最初に公開した PDF では Xdebug の記述が抜けしていました。抜けを追記します。Xdebug は php をデバッグするためのツールです。

2.1 ダウンロード

Xdebug で気付けることは php のバージョンと Xdebug のバージョンの組み合わせがあります。

Zampp PHP version 7.4.6

Xdebug xdebug-2.9.6-7.4-vc15-x86_64.dll

この組み合わせで使っています。

上記以外のバージョンを使っている人はホームページで調べてください。

<https://xdebug.org/>

2.2 設定

① ダウンロードした dll を

C:\xampp\php\ext

にコピーします。

② C:\xampp\php\php.ini に Xdebug の設定を最後に追加します。

```
end_extension = C:\xampp\php\ext\php_xdebug-2.9.6-7.4-vc15-x86_64.dll
```

```
[xdebug]
```

```
xdebug.default_enable = 1
```

```
xdebug.idekey = "vscode"
```

```
xdebug.remote_enable = 1
```

```
xdebug.remote_port=9000
```

```
xdebug.remote_autostart=1
```

```
xdebug.idekey = netbeans-xdebug
```

end_extension はダウンロードしたファイル名です。

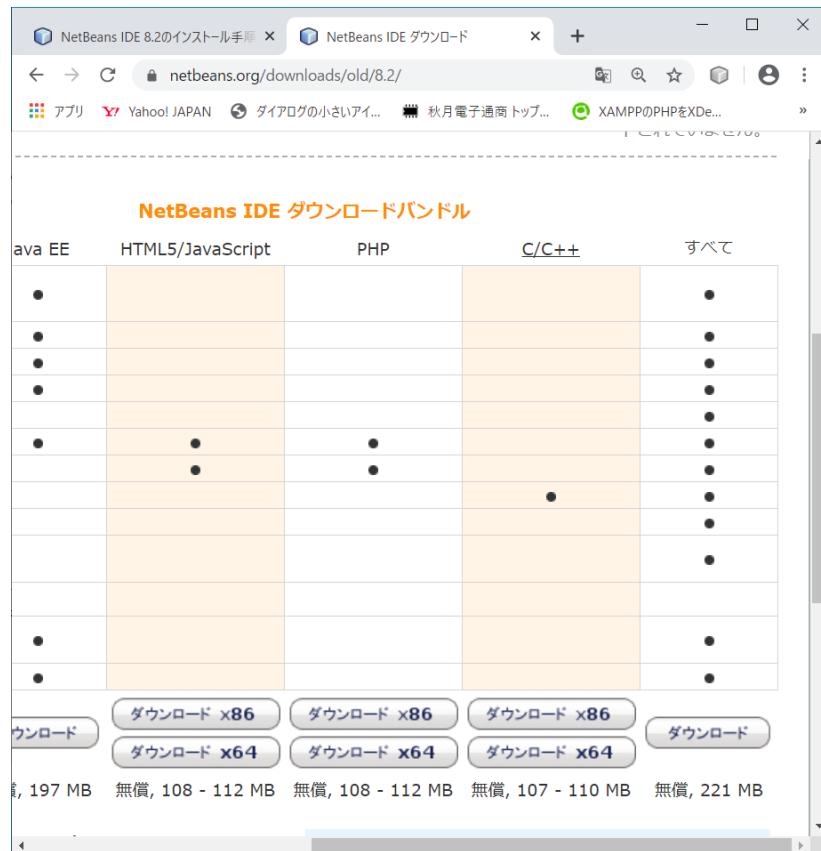
3. Netbeans

3.1 ダウンロード

下記のサイトからダウンロードしてください。

下記のサイトからダウンロードしてください。

<https://netbeans.org/downloads/old/8.2/>

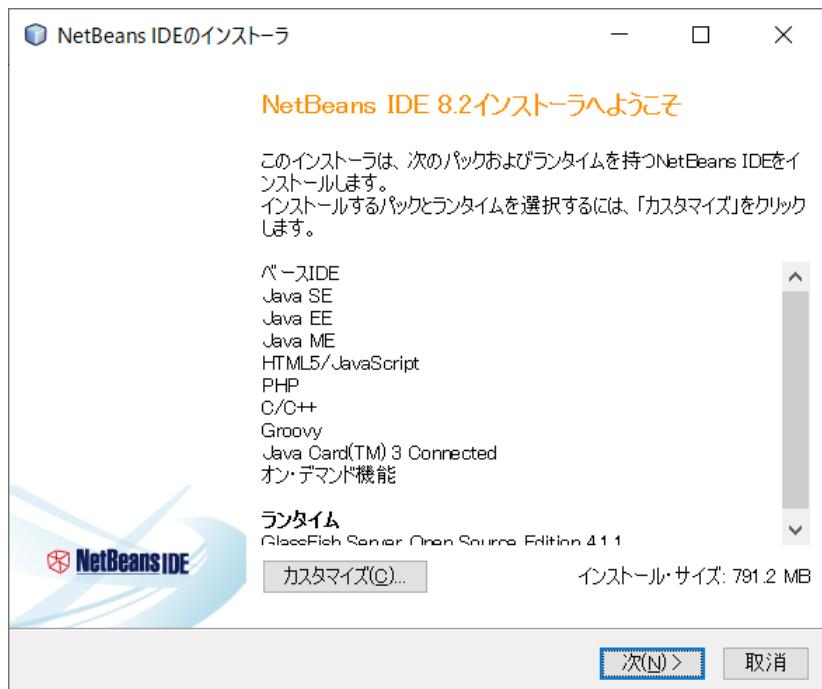


3.2 インストール

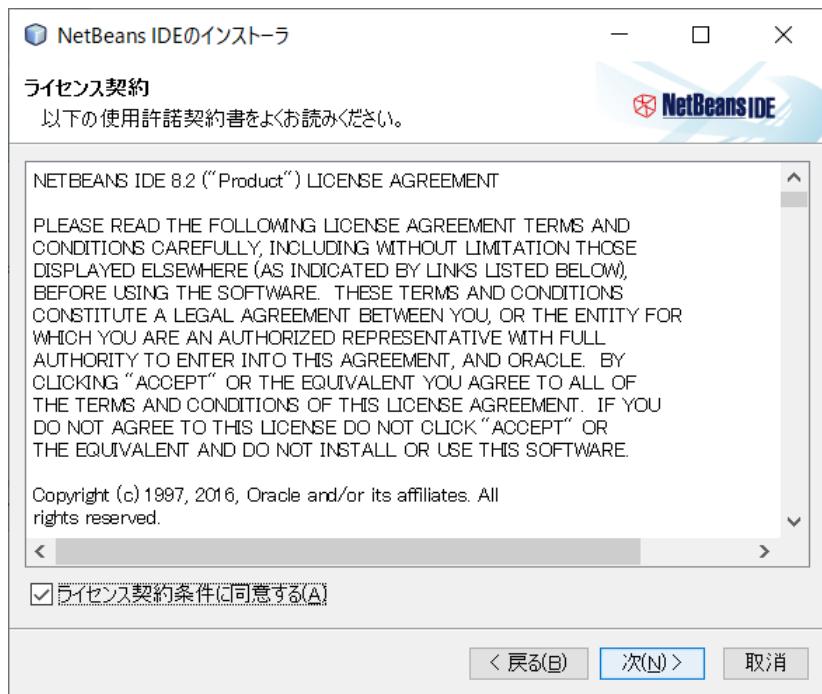
netbeans-8.2-windows.exe

ダブルクリック

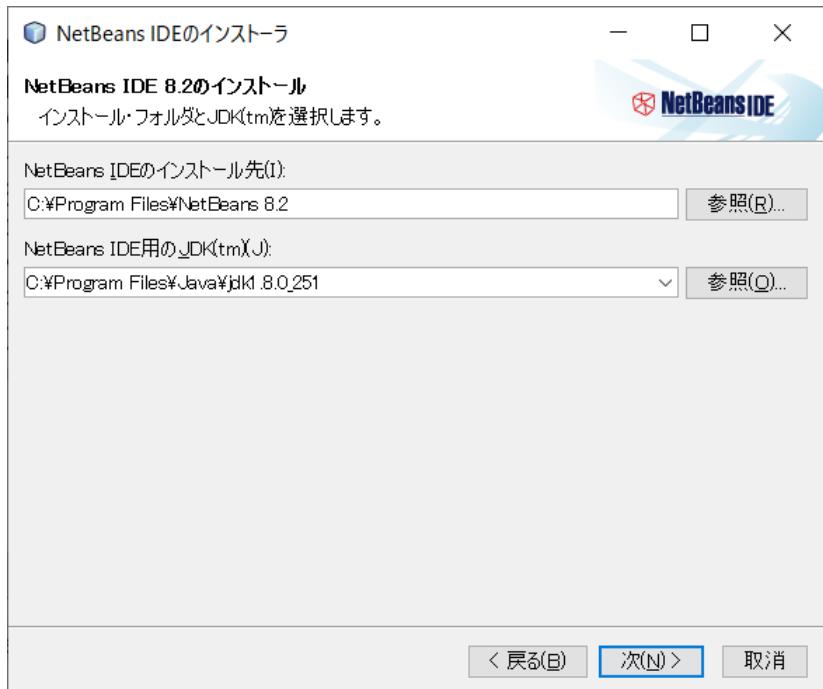
コメントの追加 [須永1]:



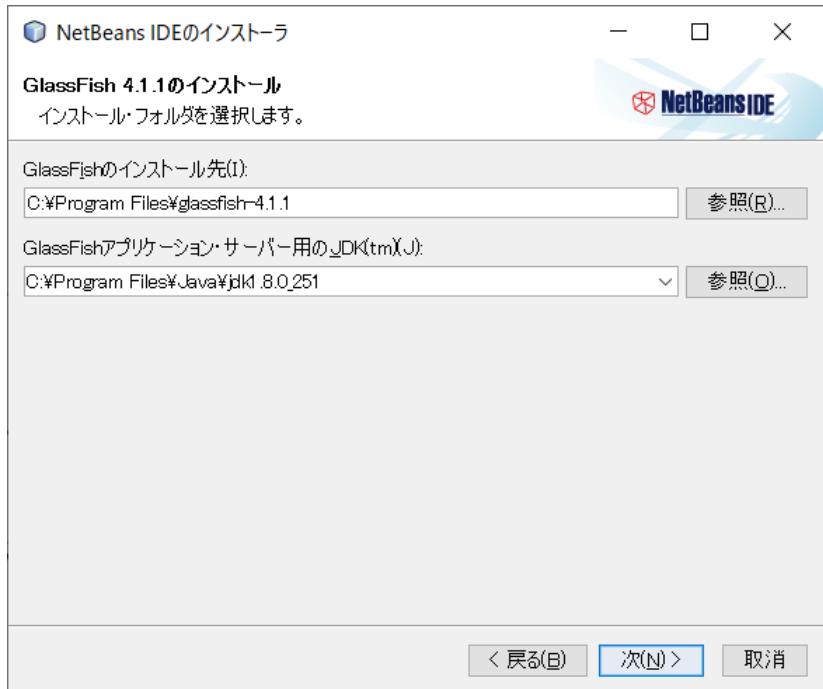
[次]ボタンをクリックします。



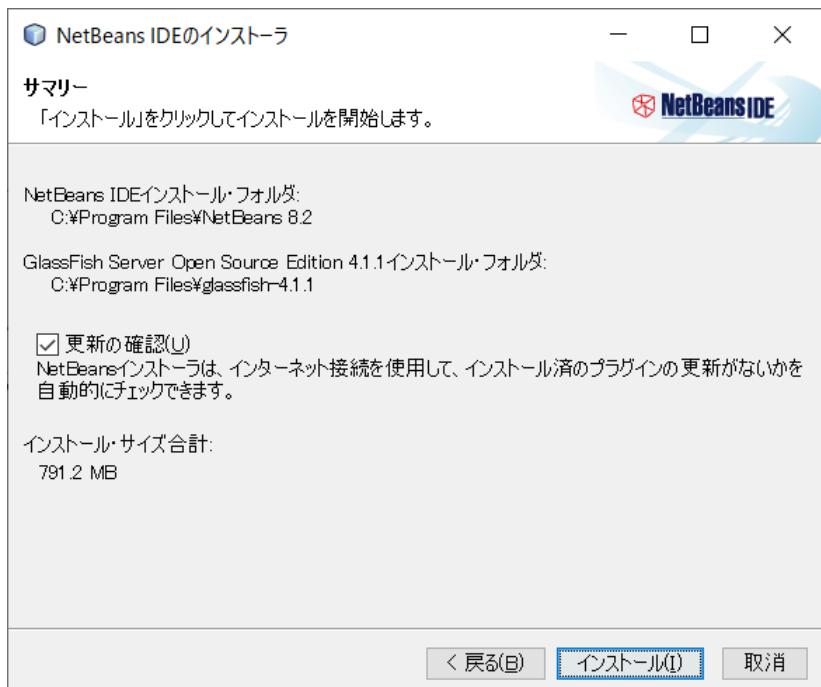
チェックを入れて[次]ボタンをクリックします。



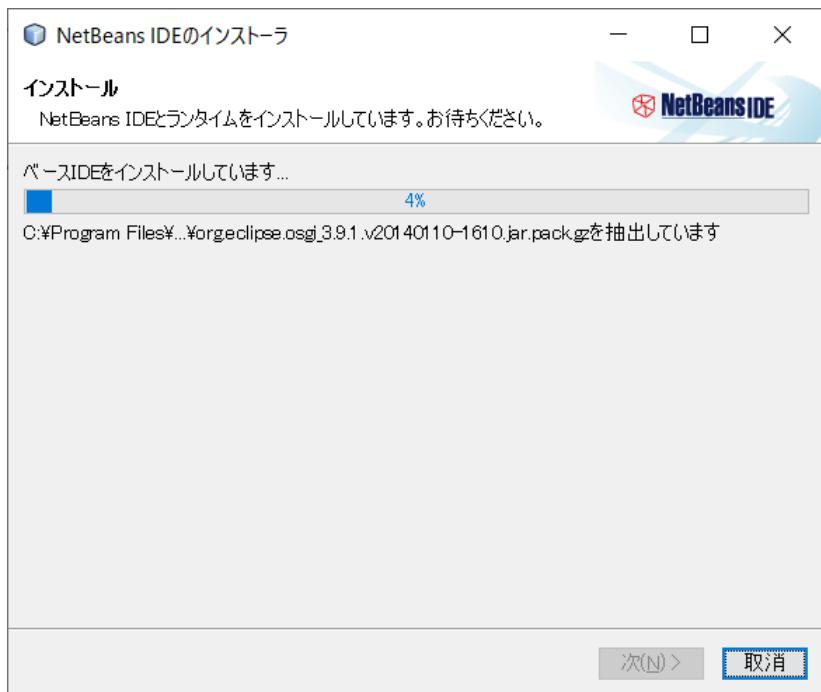
このままではよければ何もしないで[次]ボタンをクリックします。

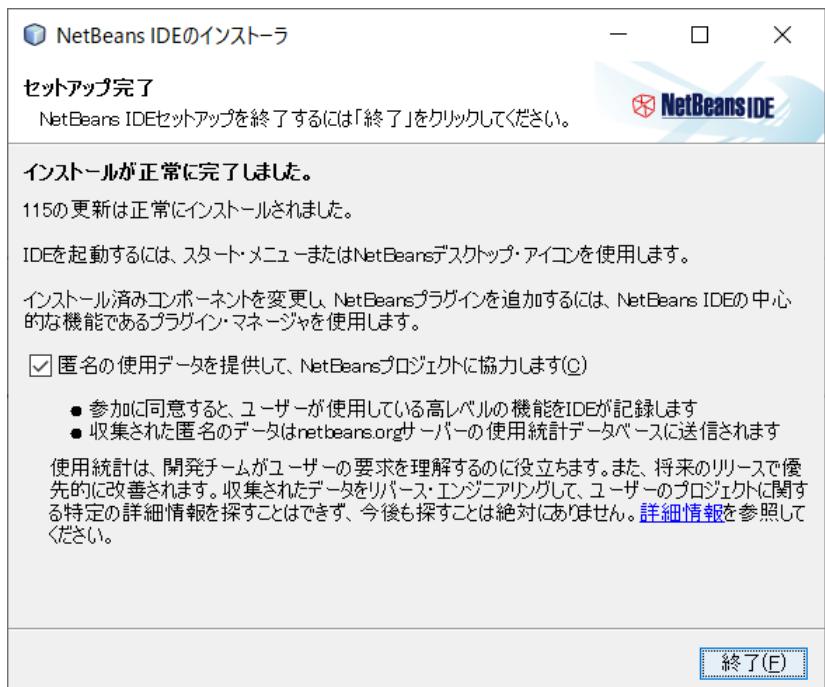


このままではよければ何もしないで[次]ボタンをクリックします。



[インストール]ボタンをクリックします。



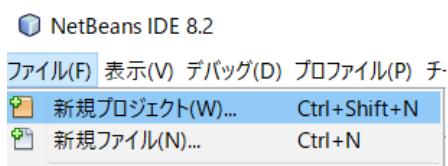


[終了]ボタンをクリックします。

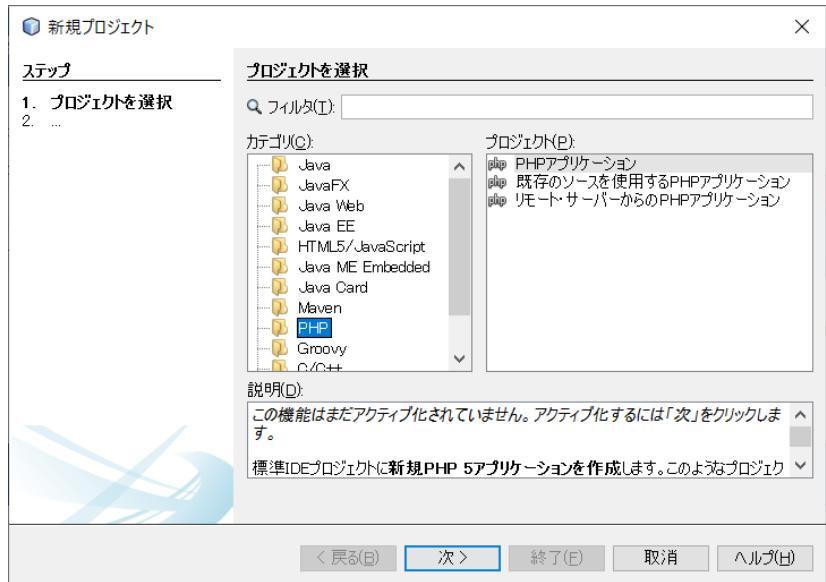
これでインストール終了。

3.3 PHP プロジェクトの新規作成

NetBeans は Visual Studio などと同じく複数のソースファイルから構成されるプロジェクトで管理します。
今は何も作っていない状態なので新規にプロジェクトを作成します。



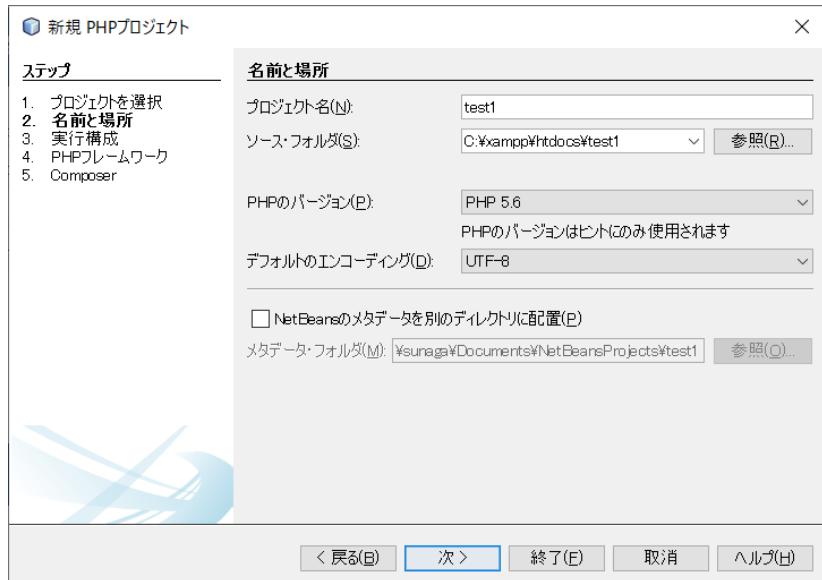
新規プロジェクトをクリック



PHP をクリック

PHP アプリケーションをクリック

[次>] ボタンをクリック



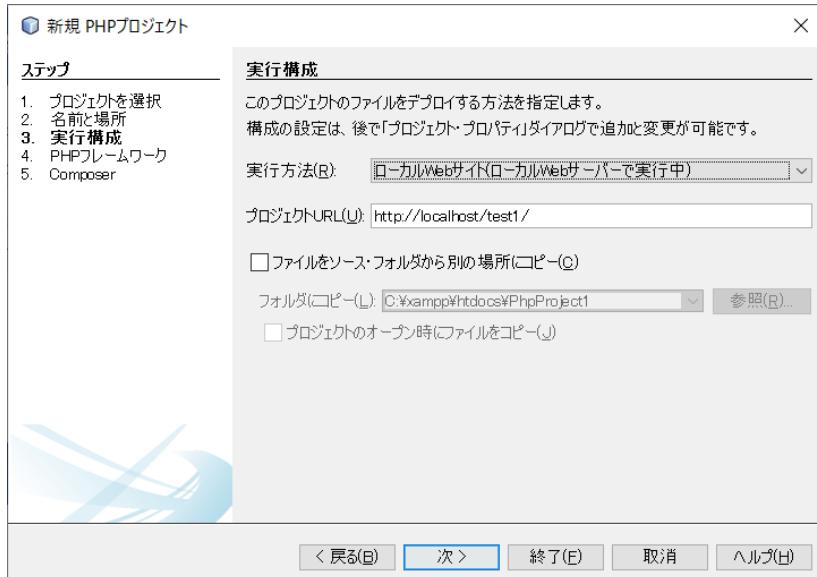
プロジェクト名 : test1

ソースフォルダ : C:\xampp\htdocs\test1

にします。xampp のドキュメントルートは C:\xampp\htdocs です。ブラウザで URL を
http://localhost

にすれば C:\xampp\htdocs\index.html が表示されます。

[次>]ボタンをクリックします。



何も変更しないで[終了]ボタンをクリックします。

3.4 PHP のデバッグ

自動で作成された index.php で

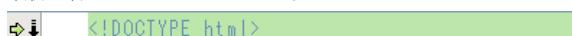
```
<?php  
echo "PHP world.";  
?>
```

に変更します。ファイルを保存します。echo 行番号を左クリックします。ブレークポイントが設定されます。

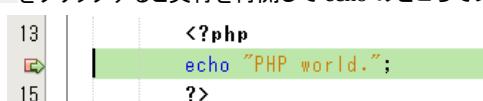


をクリックします。

最初の行でブレークしています。



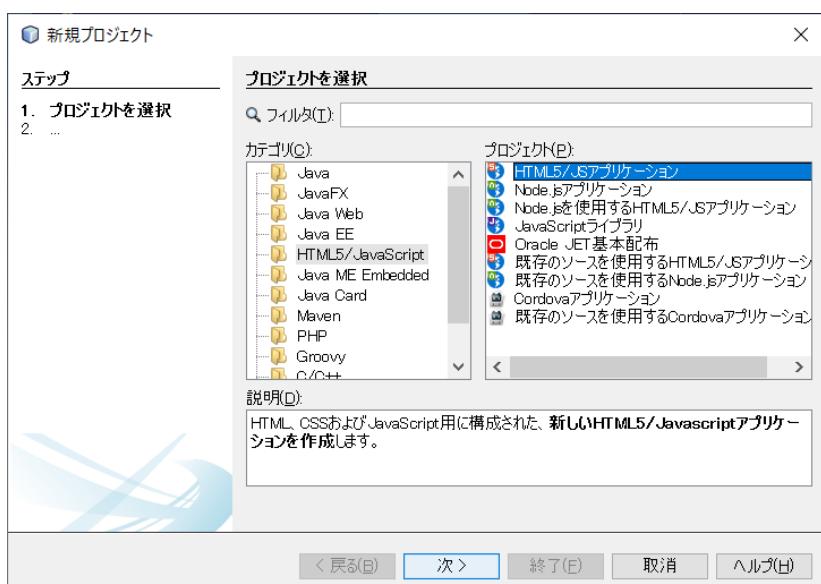
をクリックすると実行を再開して echo のところでブレークします。



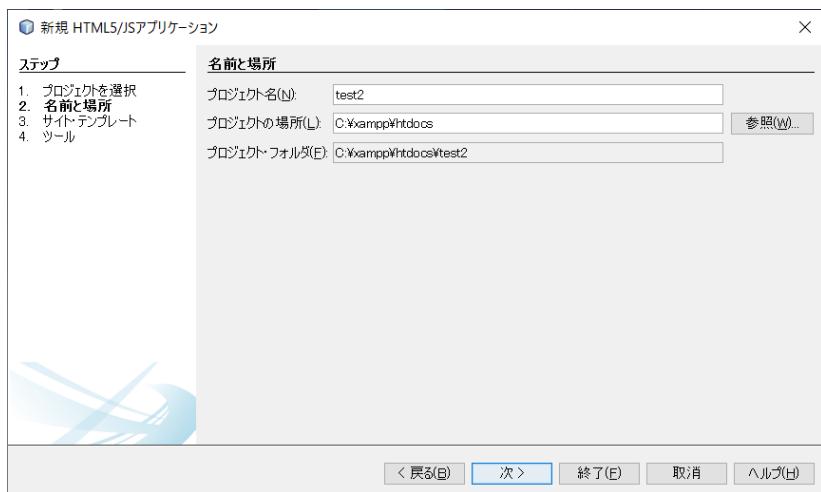
WE-Lite の開発環境ではデバッグ機能がないので大変です。NetBeans のおかげで開発効率が上がります。結果をブラウザで見ると意図した通りになっています。



3.5 JavaScript のプロジェクト新規作成



[次>]ボタンをクリックします。



[終了]ボタンをクリックします。

3.6 JavaScript のデバッグ

デバッガボタンが使用不可になっています。

隣の実行ボタンをクリックすると、



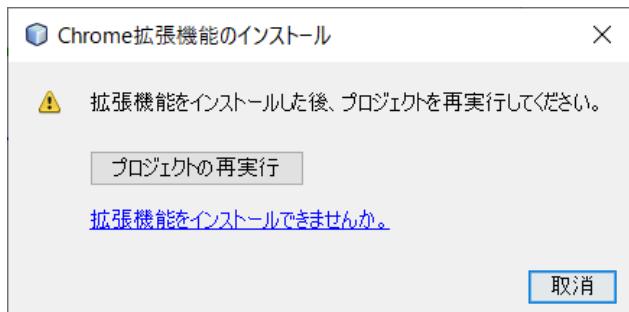
[Chrome Web ストアへ移動] ボタンクリック

A screenshot of the Chrome Web Store page for the "NetBeans Connector" extension. The page shows the extension icon, name, developer information ("提供元: netbeans.org"), and a "Chromeに追加" button. Below the main card, a confirmation dialog box is open, asking "「NetBeans Connector」を追加しますか？". The dialog lists permissions: "次の権限にアクセス可能:" followed by "ページ デバッガ バックエンドにアクセスする" and "アクセスしたウェブサイト上にある自分の全データの読み取りと変更". At the bottom are "拡張機能を追加" and "キャンセル" buttons.

[拡張機能を追加] をクリックします。



[同期を有効にする]をクリックします。



[プロジェクトの再実行]をクリックします。

これで NetBeans と Chrome の接続ができ JavaScript のデバッグができるようになりました。しかし、状況は変わらずデバッグのボタンが使用不可になっています。

CentOS5 で予約サイトの仕事をしてたとき、PHP は快適にデバッグできていました。しかし、JavaScript は NetBeans ではダメ。NetBeans のサイトに上記の記述があったのですが、微妙な違い（?）でできませんでした。理由は拡張機能がインストールできないためです。たぶん、Windows は chrome、Linux は Chromium。プログラム名とアイコンが違っています。Ubuntu の最新版でもダメでした。

NetBeans では Javascript はデバッグできない？

できます！

プロジェクトを PHP で作成します。次に html ファイルを追加したとします。

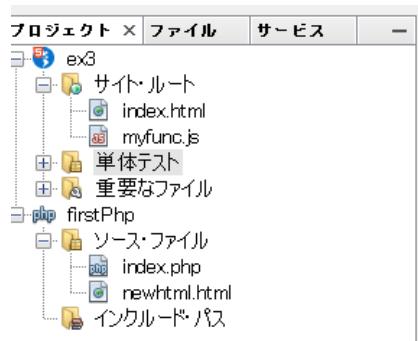
JS:JavaScript

拡張子	php の実行	php のデバッグ	JS の実行	JS のデバッグ
php	○	○	○	X
html	X	X	○	○

html ファイル内で JavaScript は実行できます。

現状では HTML5/JavaScript で作成されたプロジェクトでは JavaScript のデバッグができません。

プロジェクトを比べてみます。



ex3 : HTML5/JavaScript のプロジェクト

firstPhp: PHP のプロジェクト

HTML5/JavaScript のプロジェクトに単体テストのタブがあります。何やらデバッグができそうなイメージがします。

https://netbeans.org/kb/docs/webclient/html5-js-support_ja.html#jstestdriver

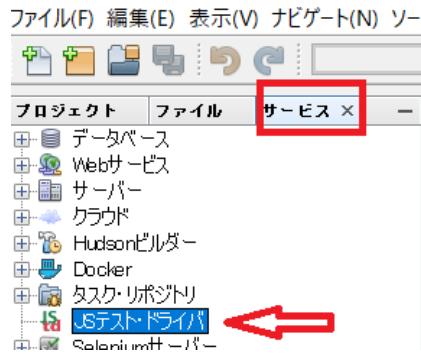
設定方法が書いてあります。

JS テスト・ドライバを使用 2.[ウィンドウ]-[サービス]をクリック。してテストを実行する方法でやってみました。分かりにくいで実際やった操作をもとに記述します。

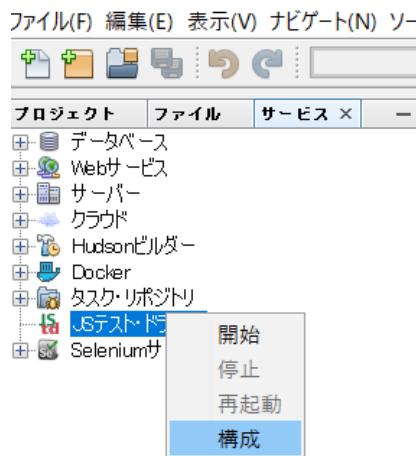
1.<https://code.google.com/archive/p/js-test-driver/downloads>

JsTestDriver-1.3.5.jar をダウンロードする。

2.[ウィンドウ]-[サービス]をクリック。



JSTestDriver を右クリック。

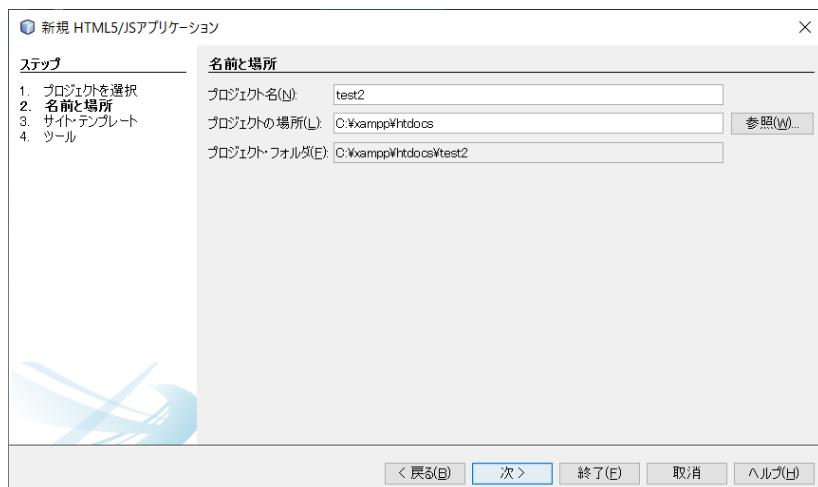
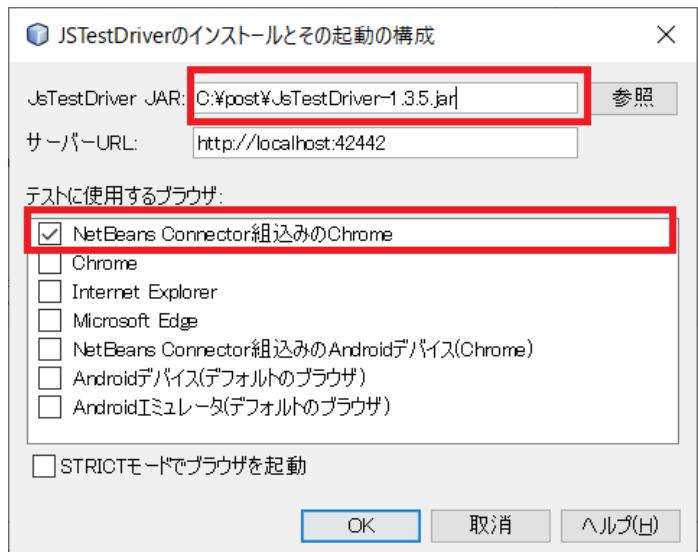


構成をクリック。

3. 「構成」ダイアログ・ポップスで、ダウンロードした JsTestDriver-1.3.5.jar を設定します。

4. ブラウザに NetBeans Connector 組込みの Chrome をチェックします。

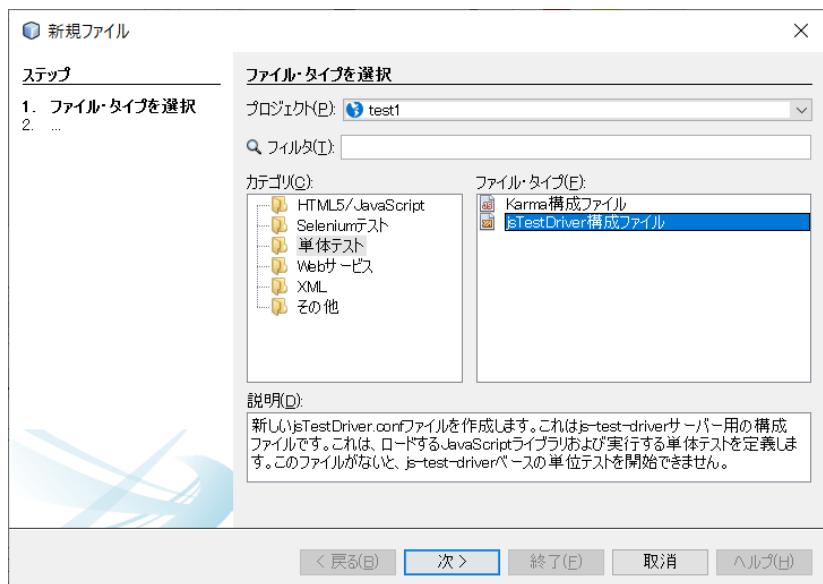
[OK]ボタンをクリックします。



5.「プロジェクト」ウィンドウでプロジェクト・ノードを右クリックし、「新規」>「その他」を選択します。

これでJavaScriptをデバッグできるようになりました。

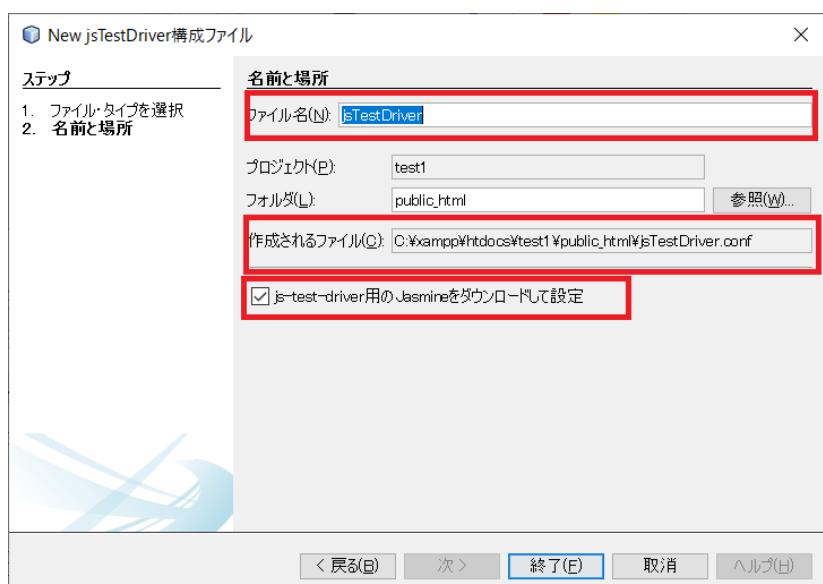
6.「単体テスト」カテゴリで「jsTestDriver構成ファイル」を選択します。[次>]をクリックします。



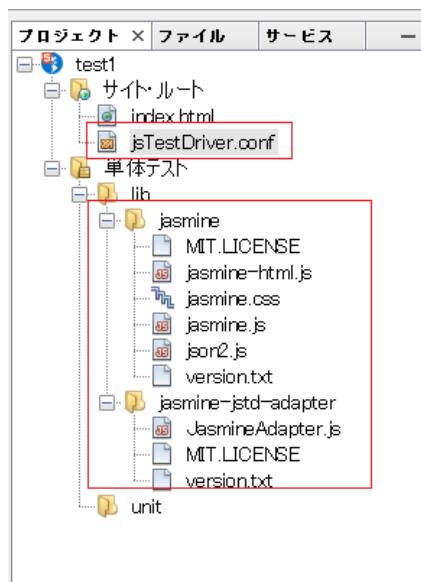
7.jsTestDriver がファイル名であることを確認します。

8.作成されるファイル」フィールドで、ファイルの場所がプロジェクトのフォルダであることを確認します。

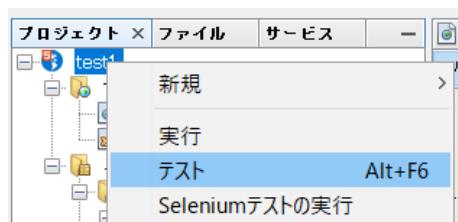
9.Jasmine ライブラリのダウンロードのチェックボックスが選択されていることを確認します。[終了]をクリックします。



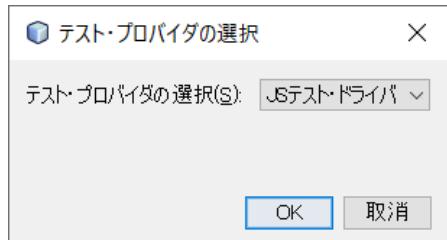
[終了]をクリックすると、IDEによりスケルトン jsTestDriver.conf 構成ファイルが生成され、ファイルがエディタに開かれます。「プロジェクト」ウィンドウで、構成ファイルが「構成ファイル」ノードに作成されたことを確認できます。「単体テスト」ノードの「lib」フォルダを展開すると、Jasmine ライブラリがプロジェクトに追加されたことを確認できます。

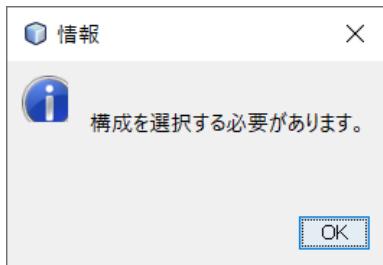


10.構成ファイルの更新後、「プロジェクト」ウィンドウで「プロジェクト」ノードを右クリックして、「テスト」を選択できます。

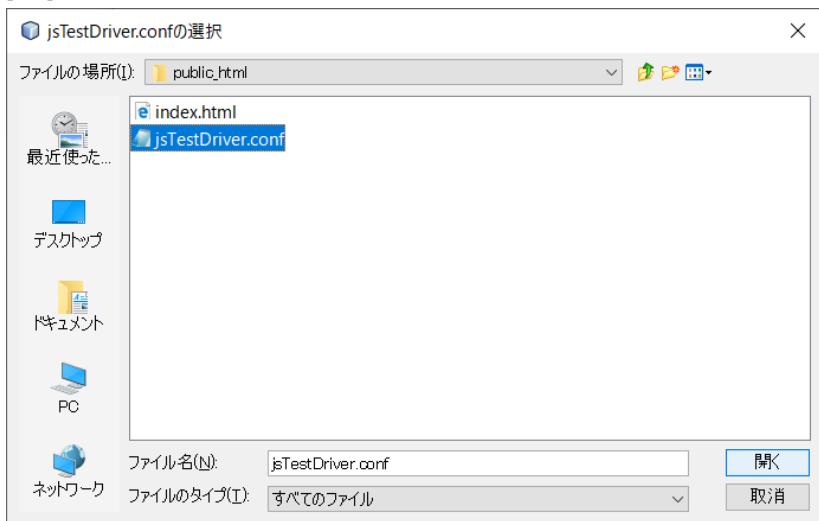


「テスト」をクリックすると、ダイアログで JS テスト・ドライバを選んで[OK]ボタンをクリックします。



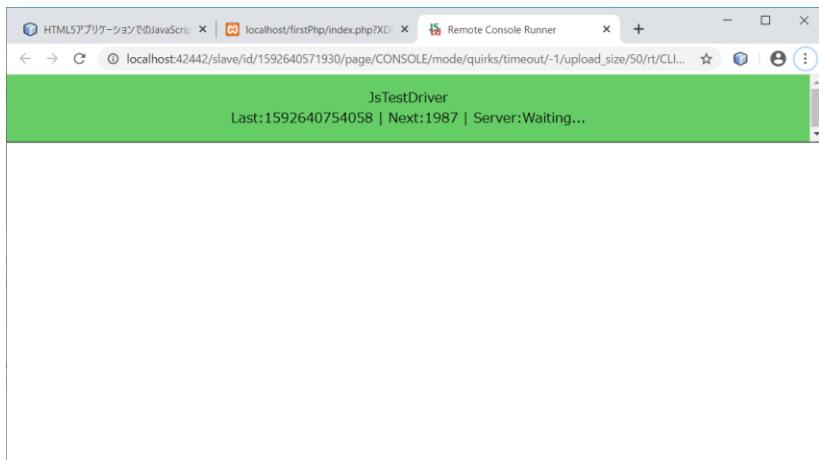


[OK]ボタンをクリックします。



jsTestDriver.conf を選択します。

[開く]ボタンをクリックします。



これで JavaScript のデバッグができます。

デバッグボタンは使用不可のままで。実行ボタンをクリックします。デバッグがはじまり、ブレークポイント

で停止します。index.html のデバッグ例です。

